

みずほCustomer Desk Report 2017/01/26 号(As of 2017/01/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.74 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.87	1.0728	122.17	1.0012	1.2530	0.7592
SYD-NY High	113.99	1.0770	122.27	1.0026	1.2638	0.7597
SYD-NY Low	113.04	1.0711	121.63	0.9967	1.2491	0.7515
NY 5:00 PM	113.28	1.0750	121.74	0.9997	1.2633	0.7575
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.725/12.125		△25RR	0.415	Yen Call Over	

NY DOW	20,068.51	155.80	債券市場	日本2年債	-0.2180	1.5bp
NASDAQ	5,656.34	55.38		日本10年債	0.0740	2.2bp
S&P	2,298.37	18.30		米国2年債	1.2341	4.2bp
日経平均	19,057.50	269.51		米国5年債	1.9765	4.3bp
TOPIX	1,521.58	15.25		米国10年債	2.5116	4.6bp
シカゴ日経先物	19,250	170.00	為替市況	独10年債	0.4640	5.6bp
ロンドンFT	7,164.43	14.09		英10年債	1.4710	6.9bp
DAX	11,806.05	211.11		豪10年債	2.7300	3.5bp
ハンセン指数	23,049.12	99.26		USD/CNH	6.8277	0.0117
上海総合	3,149.55	7.00		ドルインデックス	99.94	▲0.41
USDJPY 3M Vol	12.14	▲0.17%	商品市況	CRB指数	193.979	▲0.97
USDJPY 6M Vol	12.12	▲0.14%		NY金	1,200.50	▲13.10
EURJPY 3M Vol	10.51	▲0.06%		WTI	52.75	▲0.43
EURJPY 6M Vol	11.89	▲0.05%		Dubai Spot	52.98	▲0.36

東京	前日海外時間のドル円上昇の流れを引き継ぎ、東京時間オープン前に本邦12月貿易収支が発表され、実績が6,414億円の黒字(予想:2,811億円の黒字)と事前予想を上回る黒字額となるも、マーケットの反応が限定的、かかる中、東京時間のドル円は113.87レベルでオープン。前日海外時間のドル円上昇の流れを引き継ぎ、一時高値113.99を付ける局面が見られたものの、日経平均株価が徐々に上げ幅を縮小したことや、前日の米自動車大手CEOのドル高牽制とも取れる発言が意識されたこともあったか、ドル円は113円台半ばまで下落した。午後に入り、特段目新しい材料が無い中で狭いレンジ内の推移が続き、113.69レベルで海外市場に渡った。また、豪ドルは0.7592レベルで東京時間オープン。発表された豪10-12月期CPIが前年比+1.5%(予想:+1.6%)と市場予想を下回る結果に、RBAの利下げ観測が高まりから豪ドルは0.75台前半まで急落。引けにかけて一段と豪ドル売りの流れが強まり、一時0.7531を付けた後、0.7537レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.69レベルでオープン。TPP離脱署名等を背景に米保護主義に対する警戒感が強まる中、ドル売りが優勢となり一時113.04まで下落。その後やや持ち直して113.32レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2522レベルでオープン。スペイン系銀行が「英EU離脱決定後も英国事業における社員の再配置は計画していない」と発表したこと等を好感し、1.2598まで上昇。その後、英首相が議員らの要求を受け入れ、EU離脱計画を公表する計画を示し、「議会承認が得られなければEU離脱以外の選択肢も検討する」と発言したこと、1.26台に乗せる場面も見られた。1.2586レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0725レベルでオープン。独1月IFO景況感指数は109.8と、予想(111.3)を下回ったものの特段の反応は無し。その後、独10年債が2016年1月来の安値を付けたことや、堅調な欧州株を受けて一時1.0770まで上昇。1.0745レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外時間にドル円は軟調に推移し113.32レベルでNYオープン。ダウが大幅高で寄り付き20,000ドルの台を超えて史上最高値を更新したことや、米長期金利の上昇を受けてドル円は113.94まで上昇した。その後は新規材料に欠く中、113.70を挟んでのもみ合い推移となった。午後はトランプ米大統領がメキシコと米国の国境に壁を作る大統領令に署名し、移民管理を強化するとの方針を示したが市場への影響は一旦限定的。その後も米株が堅調な値動きとなり、米長期金利が上昇する展開が続くも、ドル円はドルインデックスがテクニカルレベルの100を下回ったことや、短期筋の利益確定売りなどもあり、ドル円は113.18まで反落。海外時間安値の113.04が意識され、同水準では下げ渋る動きを見せて113.28レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロドルは1.0745レベルでNYオープン。新規材料に欠く中、1.0740を挟んでの方向感に欠ける値動きとなり、1.0750レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月25日	8:50	貿易収支	12月 ¥641.4B	¥281.1B
	9:30	CPI(前期比/前年比)	4Q 0.5%/1.5%	0.7%/1.6%
	9:30	CPI(リム平均値)(前期比/前年比)	4Q 0.4%/1.6%	0.5%/1.6%
	18:00	ifo景況感/期待/現況指数	1月 109.8/103.2/116.9	111.3/105.8/117.0
	21:00	MBA住宅ローン申請指数	-	4.0%
	22:15	バイマン独連銀総裁講演	-	-
1月26日	1:00	カーニーBOE総裁講演	-	-
	6:45	CPK(前期比/前年比)	4Q 0.4%/1.3%	0.3%/1.2%

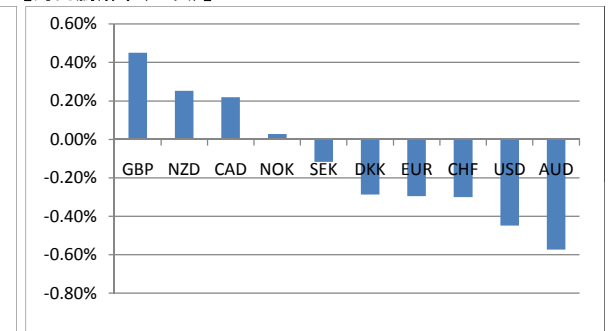
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月26日	8:50	対外・対内証券投資	-	-
	16:00	GRK消費者信頼感	2月 10.0	9.9
	18:30	GDP・速報値(前期比/前年比)	4Q 0.5%/2.1%	0.6%/2.2%
	20:00	メルシュECB理事講演	-	-
	22:30	卸売在庫・速報値(前年比)	12月 0.1%	1.0%
	22:30	新規失業保険申請件数	-	247K
	23:45	マークイットサービス業/総合PMI・速報値	1月 54.4/-	53.9/54.1
1月27日	0:00	新築住宅販売件数	12月 588K	592K
	0:00	景気先行指数	12月 0.5%	0.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.70-114.00	1.0700-1.0800	120.50-123.10

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は、113円台後半で推移する時間帯が長かったものの、NY時間終盤には113.20台まで下落する展開となっている。ロンドン時間は、113.60近辺で推移する動きが続いていたが、米債利回りの低下や日経先物の下落などを受けて一時113.04近辺まで下落。しかし、その後は米債利回りが上昇、ダウ平均も好調な企業決算から20,000ドルを超えてくると、ドル円も113.95まで上昇した。しかし、NY時間終盤では、トランプ米大統領のメキシコ国境での壁建設と移民規制の大統領令に署名するなど保護主義への警戒感が高まり、113円台前半まで下落して東京市場に戻ってきている。本日の特長のイベントがなく政治的要因に左右され、方向間の出づらな展開を予想。